

発達系評価学

[講義・演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○依田泰知 y_taichi@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

発達障害領域における作業療法士の役割と目的、評価する上で必要な視点、考え方を理解し、評価の過程、評価領域、実際の評価方法について学修する。運動面、上肢機能面、認知面、日常生活動作などの発達過程の理解を深め、正常発達の知識を作業療法に応用できるよう学習し、発達障害領域におけるプログラムの立案のための基礎知識を身につける。

【学修目標】

一般目標

正常発達の理解とともに発達障害領域における評価について理解を深める。

行動目標

1. 発達障害領域における作業療法の目的を説明できる。
2. 発達障害領域における評価の目的について説明できる。
3. 発達障害領域における評価項目を列挙することができる。
4. 発達障害領域における評価計画を立てることができる。
5. 発達障害領域における評価を実施することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	発達障害と作業療法	発達障害領域における作業療法と役割について学ぶ。	依田泰知
2	情報収集、面接、観察、検査・測定	情報収集、面接、観察、検査・測定について学ぶ。	依田泰知
3	全般的発達評価	発達全般に関する評価と検査について学ぶ。	依田泰知
4	運動機能の評価	運動機能の発達と評価について学ぶ。	依田泰知
5	運動機能の評価	運動機能の発達と評価について学ぶ。	依田泰知
6	上肢機能の評価	上肢機能の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
7	視覚認知の評価	視覚認知の発達と評価について学ぶ。	依田泰知
8	感覚統合機能の評価	感覚統合機能の発達と評価について学ぶ。	依田泰知
9	感覚統合機能の評価	感覚統合機能の発達と評価について学ぶ。	依田泰知
10	知能・認知機能の評価	知能・認知機能の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
11	言語機能の評価	言語機能の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
12	行動の評価	行動面の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
13	作業遂行の評価	作業遂行（ADL、セルフケア）の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
14	あそびと社会性の評価	あそびと社会性の発達と評価、および検査について学ぶ。	依田泰知
15	まとめ	まとめ講義を行う。	依田泰知

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

定期試験、追再試験実施後、問い合わせがあった場合には模範回答を提示する。

【教科書】

加藤寿宏 編集 「標準作業療法学 発達過程作業療法学第3版」 医学書院 2020年

能登真一 他 編 「作業療法評価学（第4版）」 医学書院 2024年

【参考書】

長崎重信 監修 「発達障害作業療法学（第3版）」 メジカルビュー社 2021年

上杉雅之 監修 「イラストでわかる発達障害の作業療法」 医歯薬出版 2016年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法 - 基礎編 - 【第3版】」 三輪書店 2019年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法 - 実践編 - 【第3版】」 三輪書店 2019年

【備考】

適宜講義資料（レジュメ）を配布する。
各授業の最後に確認問題（評価には含めない）を実施する。

【学修の準備】

人間発達学の内容を十分に理解した上で授業に臨むこと。また、予習は教科書を読み授業に臨むこと（80分）。
復習は、配布された講義資料と教科書の内容を統合し、理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2. 作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

依田泰知（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

特別支援学校、福祉機関での臨床経験を活かした教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している